



西条・山と水の環境機構

20周年誌出版記念シンポジウム

SDGsから見た東広島の水環境

龍王山を源流とし、長い年月を掛けて育まれた地下水で醸される西条の日本酒。この酒のもとになる水を20年間に渡って守り、山づくり、水づくり、美しいふるさとづくりを続けてきた機構の活動をはじめ、大学による最新研究成果から見えてくる地下水の現状、東広島市によるSDGsへの取り組みなどを紹介します。



日時：令和4年8月11日（木・祝日） 13:30～16:30
 場所：東広島市総合福祉センター・3階大ホール（東広島市西条町土与丸1108）
 申し込み：下表に必要事項を記載してファックスまたは下記QRコードから入力。
 締切：8月7日（日）ただし先着順120名まで


参加無料・参加者には10周年記念誌、20周年記念誌を各1冊贈呈します。

主催：西条・山と水の環境機構
 共催：広島大学SATOインキュベーション研究拠点 後援：東広島市

<プログラム>

開会・来賓挨拶 *1,*2（裏面）
 山水機構および記念誌の紹介 *3
 講演① 酒都西条 龍王山から酒造地区までの地下水の水質変化 *4
 講演② 西条の“里水”としての地下水資源－都市化と温暖化の中で－ *5
 講演③ 東広島市のSDGsへの取り組み *6
 パネルディスカッション+意見交換会 *1,3,4,5,6,7
 閉会挨拶 *7

駐車台数が限られておりますので、出来るだけ公共交通機関または乗り合わせでお越し願います。


 申し込みフォーム

お問合せ・申込み 西条・山と水の環境機構事務局
FAX 082-422-2668 TEL 082-421-8032（月・木 10～15時）

ご所属	お名前	ご住所・電話番号

個人情報は、本件およびコロナ・クラスター追跡の連絡以外に使用することはありません。

2030年、2050年にも西条の地下水は守られているのか？ 西条・山と水の環境機構の活動をお伝えし、 広島国際学院大学、広島大学での最新の研究成果をもとに 東広島の水環境について一緒に考えます。

< 登壇者紹介 >

前垣壽男 *1

西条・山と水の環境機構
理事長
賀茂泉酒造株式会社 会長



高垣廣徳 *2

東広島市長
西条・山と水の環境機構
顧問



池田道晴 *7

J A 全農ひろしま 米穀部長
西条・山と水の環境機構
理事



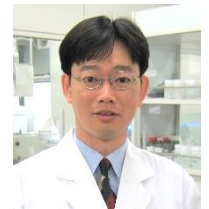
中越信和 西条・山と水の環境機構理事、広島大学名誉教授 *3

2030年はSDGs達成年、2050年はカーボンニュートラル実現年なのはご存じでしょう。西条・山と水の環境機構は今まで20年の実績から両年に向けて、これらの大きな目標に迫れるかをお二人の専門家と行政担当者の講演を基に考えることにしました。今回は、とくに不安定な降雨・気温条件での水環境の持続性を主題としました。



竹野健次 広島国際学院大学 工学部 生産工学科 教授 *4

大学を卒業後、広島市内の環境分析会社にて分析技術員として勤務。その後、広島大学大学院にて環境工学を学び、広島国際学院大学の教員に着任。現在、酒処、西条の地下水の源流である龍王山と酒造地区の地下水調査を20年以上担当している。本講演では、20年間調査した龍王山と酒造地区の水質の特徴と、最近の調査で明らかとなった源流から酒造地区までの水質変化についてお話しします。



小野寺真一 広島大学 大学院 先進理工系科学研究科 教授 *5

我々の研究によれば、西条の地下水は森林源流域のみならず中流での人の手による水田やため池で主に涵養しており、里水と定義しています。その一方で、都市化にともなう直接的な地下水涵養量の減少に加え、気候変動にともなう流域全体での減少が確認されており、その持続可能な利用には課題が明らかになっています。以上を、総合的にご紹介します。



栗栖真一 東広島市役所 経営戦略担当理事 *6

東広島市役所に入庁後、企画、産業、福祉、人事部門等を経て今年度より現職。東広島市が県内の市町で唯一となる「SDGs未来都市」に選定されたことや市のSDGs推進に関する取組み、SDGsの理念に共感する企業や団体とともに取組みを進める「SDGs未来都市東広島推進パートナー制度」等について説明します。



※会場では、換気、マスク着用、手指消毒などコロナ対策にご協力をお願いします。

※西条市街地巡回バス「のんバス」をご利用の場合

J R 西条駅前・芸陽バス④番乗り場から、毎時6分・36分に出発、所要時間約6分です。

外回り（赤ルート）にて「のぞみ整形外科前」で下車し、会場まで徒歩約5分です。